

銀杏学園
短期大学

同窓会だより

平成12年度



銀杏学園短期大学学長
酒匂 光郎

異科同舟

第26回学園祭(杏祭)が去る11月11日、12日に開催されました。

本年度初め、後援会の皆様から学園行事を共に盛り上げたい、支援したいとお申し出がありました。早速、春5月の体育祭(ミニバレー大会)に後援会チームを編成されご参加いただきました。それにより、大会は、学生・教職員・後援会有志の三つ巴戦となり、それは和気藹々で楽しい試合になりました。

引き続き、後援会では学園祭の支援にも参加されました。そこでは、お二人の講師を招聘した学術講演会を催され、学園関係者はもとより地域の多くの方々が聴講されました。また、学生たち出店の模擬店に加わり、後援会会員の出品のバザー店をかまえられるなど、数々のご協力をしていただきました。感謝の気持ち一杯であります。

学園祭を主催する学友会では、衛生技術科・看護科両学科より選出された実行委員会委員を中心に、着々と準備し、盛大で有意義な「杏祭」を運営してくれました。日頃は、本校舎と北校舎に分かれて勉学に精進していますが、このような時に一緒になって、企画し実行していくことは我々にとって非常に望ましいことです。

本稿を書きながら、昭和36年3月、熊本医学技術専門学校第二回生以来、衛生技術科30回生までの3316名と昭和60年3月、看護科第一回生以来16回生までの627名、計4003名のうち、両科卒業生が同一施設に共に就職している数を調べてみますと82施設にのぼることが分かりました。

これからも同窓会の皆様のご活躍と、後輩のご指導をよろしく願っています。

学園といたしましても、到来する少子化の時代に対し、如何にして特色のある大学とするか鋭意努力いたします。ご助力を切に願っています。

ご挨拶



銀杏学園短期大学同窓会会長

梅橋 豊蔵

21世紀という新たな世紀のスタートが目前に迫っており、あらゆる分野が急激な変革を余儀なくされているようになんとなくあわただしく感じられます。長期経済低迷からの国の景気浮揚策としての規制緩和により、あらゆる分野で競争が激化し、結果として経済の沈滞化を招き益々混沌の様相を呈しています。人間社会のルールや骨身を削つての競争は、相互叩き合いによる市場の縮小化を来し、経済の悪循環となるばかりでなく、己は勿論、社会をも疲弊へと追い込むものと考えます。本来、競争は自由主義社会の根本原則であり、また、グローバル化の進む中、規制緩和は当然の策と認識するところであり、過剰反応は慎むべきでありましょう。

古人曰く「過ぎたるは及ばざるが如し」
臨床検査分野も変革期を迎えています。受託検査分野の過当競争に端を発したプランチラボ、FMS等のアウトソーシングに絡む問題、検査包括検査実施料ダウン及び準備段階にあるDRG/PPS、逼迫する医療経営の中での効率的検査室運営等、難問が山積しているのはご承知のとおりであります。さらに医療全体が科学的根拠に基づき医療の実践(EBM)と言う流れにあり、検査分野においてもEBDの中での必要な検査が求められています。

近年の医療は遺伝子操作技術をはじめ、長足

の発展を遂げてきましたが、一方では、医療の安全性と言う観点から見ると、旧態前として大きな改善が見られていないという現実があります。医療は有効で、かつ安全でなければなりません。検査においても「リスク・マネジメント」という問題に真剣に取り組むべきでありましょう。

ふと周りを見渡しますと、若者が色とりどりの髪の毛を小汚く伸ばし、なんとなく品性乏しく(おっと失礼!)地べたにしゃがみ込んでる姿を見ますと、本当にこの国の将来は大丈夫だろうかと疑いたくなるのは歳のせいでしょうか。時の流行に違和感を覚えるのは社会から遠ざかりつつあると言う証拠かも知れませんが、「光陰矢の如し」、遙か昔卒業式の時に聞いた諺でありますが、まさに実感しているところでもあります。

平成12年度同窓会事業として、例年どおり第28回技術講習会の開催、同窓会だよりの発行という2つの事業を計画しております。技術講習会懇親会は、平成13年2月24日(土)、昨年度と同じニュースカイホテルにおいて開催すべく、銀大15期の皆さんを中心に企画準備を進めていただいているところがあります。是非多くの会員の皆さんにご出席戴きますよう宜しくお願い致します。最後になりますが、皆様方の益々のご健勝ご活躍を祈念申し上げます。



輝いている人たち

医技専、銀杏短大の同窓生は3000名を越えています。中にはいろいろな面で活躍され「実は同窓生だった?」と驚かされる人もいらっしゃるようです。仕事などで素晴らしい業績をあげていらっしゃる人、ボランティア活動をされている人、職場や地域の名物、女、あるいは、他では経験できないような経験をしたり人などなど。そんな方々に同窓会紙でスポットを当てようという企画を考えました。今回、3名の方をご紹介します。近くに教えてあげたい同窓生がありましたら、同窓会企画部 担当：門内(化血研)までご連絡ください。

★私は家族のプロデューサー

銀大第8回生 山口恵美子(旧姓林田)

北アルプスを見て、そこで生活がしたく、東京近郊から松本に移り住んだ。そして五年後、海の上の美しさに魅せられ伊豆半島の南、下田市へと移った。三年後の今年、なんとなく落ち着きたい気分になり、伊豆半島の付け根——伊東市に家を建ててしまった。住みたい所、好きな所に住むというのが我が家流。住み慣れた所を離れるのは寂しいが、新しい土地での新しい巡り合いも、又人生の楽しみだと思える。家族ともども、速やかに地元へ溶け込み楽しく暮らせるようにプロデュースするのが、現在の私の仕事である。

空想の世界で頭の中が一杯の夫は、羅門祐人というペンネームで小説を書くことにより、なんとか現実世界でも生きていく。そのため、日常生活は、からきし苦手だ。私が経理や雑務など、書くこと以外の全てをサポートして、始めて我が家は成り立つことになる。父親参観日にも私が行くことになる。父親不在のように感じられるかもしれないが、そこはそれ、ただ家に居ると言うだけで我が家独自の存在感があることも確かだ。それを効果的にプロデュースするのも、これまた私の仕事なのだ。

また子供たちには、その土地その土地の良さを吸収してグローバルな視点を、持ちつつ成長して欲しいと願い、プロデュースしている。



新しい土地での生活を楽しむためには、その地域に溶け込むことが、もっとも大切なことだと思う。溶け込みさえすれば、趣味が広

がったり、深まったりする。それがまた殊のほか嬉しい。自身の陶芸の作品もいつのまにか増えてきた。拙い作品でも自己満足できればそれでよしとできるのが、まこと素人の強みである。

ともあれ、伊東に定住したが、いつまた気が変わるかもしれない。もし、書店で羅門の本を見かけられ、面白そうに思われたら幸いです。

★2号エイズ相談員として

医技専第5回生 小西 洋子

アナルセックス、オーラルセックス、フェラチオ、クリンギス、ソープランド、ファッションヘルス、突然ですがこのような言葉の意味をご存じですか?

いかせん私がHIV相談員として任命を受けた頃はエイズはまだ世の中に充分に知れ渡っていない情報ばかりありませんでした。そんな言葉に翻弄されればなしで大変でした。エイズは「セックスから染る」が頭にあるばかりです。いきおい、これではどうか?このようなセックス関係でうつるのでしょいか?など言葉や性生活中の相談に戸惑いながらの始まりでした。顔が見えない事を幸に、電話相談にいたっては最悪です。経験豊富な相談者のセックス用語に首をかしげながら対応するわけですので、たまには「それはどのような状態ですか?」と逆に聞き返し、頼りにならないなと思われたかもしれない。相談に費やされる時間は相当なものでした。HIV相談であれば、どこかで死の意識があるわけですから、相談者は真剣に「大丈夫ですか?」あげくの果ては自分を納得させるため「大丈夫ですよ?」などと念を押してきます。大丈夫と思っても、絶対的な言葉が吐けず相談者に同調してあげられない苦しみもストレスになることも度々でした。

検査をして1週間後結果を伝えるわけですが、異常無しと判った時の「あーよかった」とほっとされる表情は本当になんとも表現したいものがあります。HIV感染者は世界的に年々増加していますが、相談者は以前に比べて少なくなりつつあります。相談を始めた頃よりTV、新聞、本そしてインターネットなどいくらでも知識や情報を得る事ができますので、やたらにパニックになる人も少なくなってきたのでしょうか。エイズ相談員になり人との関わり方として初めてでたような言葉の意味も知り、いろんな人生のありかたも学んでいます。この頃は実習に来る医療技術者に対してエイズの時間を週に1時間半ぐらいいただいています。性の教育ですからまだ若い学生は顔が赤ら



★3号熊本のブルース・リーの巻

銀大第16回生 岡崎 孝憲

(文責 銀大第16回生 田中信次)

同窓生の皆さんは李小龍という人物をご存知ですか? そうアクションスターでありながら独自の武道から独自の哲学へと発展させた故ブルース・リーの中国名です。三二歳の若さで謎の死をとげたのですが、その人気は現在でも衰えず、彼の映画に興奮された方も多いのではないのでしょうか。実はわれわれ検査技師の仲間にもブルース・リーをこよなく愛し、李小龍の生き方にかなり傾倒している人物がいるのです。彼の名は岡崎孝憲氏。十六期生で日赤熊本健康管理センターに勤務しています。小学生の頃から二十数年間ブルース・リー。筋。その頃から集めた彼のコレクションは千数百点にもおよび、「ドラゴン博物館」を造るのが夢だ、というからリー氏への愛の深さをうかがい知ることが出来ます。

最近では黄色いドラゴンのツナギを息子とともに着てトレーニングに明け暮れているそうです。彼の愛好家ぶりはマスコミの知るところとなり、雑誌「B I D A N」に紹介されたのをきっかけに九州民放数局から出演依頼があり、テレビでぬんちゃくを振り回すシーンをご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

でも、どうですか皆さん、ここまで一つのことを「筋にやり」とおし続けることができるでしょうか? 今回、わたしが自慢したいことはブルース・リーファンの同級生ではなく、自分の信念を貫きとおし続ける岡崎氏を誇りに思うからです。

いまからでも遅くありません。岡崎氏を見習って「熊本の〇〇」を目指そうではありませんか。

敬具

追伸

ちなみに「熊本のブルース・リー」という称号はロサンゼルスにあるブルース・リー道場から認可されたもので勝手に使つてはいけません。



現代医療の一翼を担う九州屈指の医療短大 銀杏学園短期大学



●衛生技術科 100名
(臨床検査技師育成-3年制)

●看護科 40名
(看護婦<士>育成-2年制 高卒准看資格者)

■入試科目

【衛生技術科】

◆推薦
小論文(800字以内)、理科(物理I B、化学I B、生物I Bの中から1科目選択)、面接、健康診断

◆一般
数学(数学I・II)、外国語(英語I・II)、理科(物理I B、化学I B、生物I Bの3科目の中から1科目選択)、面接、健康診断

■平成13年度入試日程

推薦	学科	出願期間	試験日
推薦	各課共通	11月6日~11月17日	12月5日
一般	衛生技術科	一期	1月5日~1月18日 2月2日
		二期	3月2日~3月8日 3月21日
	看護科	1月5日~1月18日 2月2日	

【看護科】

◆推薦

小論文(800字以内)、看護学、面接、健康診断

◆一般

基礎科目(国語(現文)・数学I・英I)、看護基礎医学、看護学、面接、健康診断

■募集要項(〒共1,000円・小為替のみ)の請求は教務課まで。

〒860-0083 熊本市大塚一丁目6-2

☎096(344)7611(代表) / ☎096(356)5656(教務課)

ぎんぎょう 銀杏学園短期大学

新任あいさつ

情報、数物系担当

林 秀樹

本年4月より、情報・物理を担当させて頂いております。

地球物理学者を志して、九大の物理に学びましたが、卒業後は、わずかな期間日本アイ・ビー・エムで物理系の研究に入った以外は、貫してコンピュータ畑の仕事をしてきました。Uターン後、38才で化血研に入所し、電算室長、生産技術課長を勤め、当校に赴任する前の3年間、熊本ソフトウェア研修センターに出向しておりました。センターでは、研修の講師・営業等多くの経験をしました。特にセンターが業務委嘱を受けていた身体障害者職業訓練校での研修は印象深いものでした。何とか情報技術を身につけ、ハンディを克服して社会で活躍したい一心で努力する彼らや、家族のご苦労に直接接し得ました。バス停から片道150mの距離を30分かけて2年間通いつける姿は感慨深いものでした。

55才を過ぎて、常勤の教員としてどこまでやれるか分かりませんが、少しでも生徒の気持ちを理解し、育成の手助けが出来るよう努力していく所存です。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



写真一番左

◎第28回技術講習会について

同窓会技術講習会の企画・運営が、各卒業期に任されるようになりまして、早5年が経過しました。平成7年に銀杏短大10期卒業の方々から始められ、今年度は私達15期が担当することになりました。

第28回技術講習会は会場を熊本ニュースカイホテルに、平成13年2月24日(土)に開催予定です。

今回、私たち15期生は、講習会のメインテーマを「新世紀を迎えて～自然との共生～」としました。

2001年という新世紀を迎えて、私達をとりまく環境はより厳しさを増していると思えます。この環境というのは、自然環境だけではなく、検査技師が置かれている社会環境の事でもあったと考えました。その難しい環境の中で、「今、私たちに何が出来るのだろうか」という事を探るために、今回の技術講習会には三人の先生をお招きしました。

九州東海大学農学部部長の戸田義宏先生、ならびに菊池養生園名誉園長の竹熊宜孝先生です。また、昨年度の技術講習会で、14期の方々企画され好評でしたテーマを引継ぎ、「医療環境変化に対応するためのアドバイス」を済生会病院 高森祐二先生にもご講演いただきます。

今回の技術講習会にも、例年同様、皆様の多数のご来場をお待ちしております。

第28回技術講習会準備スタッフ(平成12年10月20日時点)

隅倉 斗志文、田口 千嘉子、富田 隆士、中村 治、西方 菜穂子、西本 喜一、野口 和浩、平尾 真一、瀧辺 恭裕、松本 珠美、山内 すみよ、山本 恭朋、渡辺 正綱、松本 康隆
これから講習会へ向けて、さらにスタッフが増える予定です。また、次期担当16期生の皆さんにも参加いただきます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◎第29回技術講習会担当 銀大16期 代表 門内信雄

よりよい人生を送りたいと願う人々の望みを叶えるためでしょうか、現在、テレビや雑誌などで健康に関する情報があふれています。医療に従事しているということで、あるいは医療に関連した勉強をしたということで、身近な人からいろんな質問を受けることさえあります。医療、健康に関する知識を求めている人が急増していることを実感します。このような中で私たちの技術講習会を活かすことができたらいいなと思っていました。

第29回技術講習会は銀大16期生が担当します。実は、日赤健康管理センターの田中君と一緒にやってくれることが決まっているだけで、実行委員、講習会の内容など何も決まっていません。多くの人々が興味をもって参加できるような講習会にしたいと考えています。

銀大16期同窓生のみなさん、協力してください。近いうちに連絡します。一緒に素晴らしい技術講習会を作りましょう。同窓生のみなさん、いろんな情報や要望を近くの銀大16期生にお寄せください。

第28回技術講習会

メインテーマ「新世紀を迎えて」

～自然との共生～

技術・化学分野にいるからこそ、

新世紀を機会に「自然」とは何かを見つめ直してみよう!

会期/平成13年2月24日(土)

13:30～17:30

会場/ニュースカイホテル 平安の間(3階)

もう!そろそろ「命一番」

講師: 竹熊 宜孝先生

(公立菊池養生園 名誉園長)

森は人類の夢と希望の宝庫

講師: 戸田 義宏先生

(九州東海大学 応用植物科学科 植物環境科学研究室 教授)

医療環境激動時代における当院の検査室の 取り組みと今後の方向性について

講師: 高森祐二先生

(済生会熊本病院 臨床検査部 技師長)

【関連行事】

同窓会総会 時間/13:00～13:30 会場/ニュースカイホテル 3F(玉樹)

懇親会 時間/17:10～19:30 会場/ニュースカイホテル 24F(スカイホール) 会費/3,000円

●受講料無料です。どなたでも参加できます。

ぜひ、お知り合いの方をお誘いの上、ご参加ください。

当日受付もできます。



平成12年度 同窓会総会時会計資料

収入の部 平成11年度 会計(決算) H11.4.1~H12.3.31

科目	予算額	決算額	備考
1 繰越金	9,200,000	9,249,821	平成10年度より
2 終身会費	950,000	980,000	新入生98名
3 寄付金	250,000	250,000	銀大後援会より
4 協賛費	550,000	550,000	銀大、化血研より
5 講習会収入	250,000	228,000	懇親会懇親会3千×76
6 雑収入	100,000	65,434	利息
収入合計	11,300,000	11,323,255	a

支出の部

7 会誌発行費	450,000	414,780	
8 名簿発行費	1,900,000	4,500	調査費として
9 講習会費	900,000	1,180,462	
10 会議費	100,000	30,500	常任評議員会1回
11 支部活動費	200,000	0	
12 印刷費	100,000	2,835	名詞印刷代
13 通信費	30,000	18	切手代
14 事務消耗品費	50,000	14,377	
15 交通費	50,000	0	
16 雑費	50,000	10,953	
17 予備費	200,000	0	
支出合計	4,030,000	1,658,425	b

収入合計 11,323,255(a) - 支出合計 1,658,425(b) = 収支合計 9,664,830(平成12年度へ繰越)
(a)-(b)

収入の部 平成12年度会計(中間) H11.3.31~H12.10.11

科目	予算額	決算額	備考
1 繰越金	8,000,000	9,664,830	平成11年度より
2 終身会費	950,000	1,080,000	新入生108名
3 寄付金	250,000	0	
4 協賛費	550,000	0	
5 講習会収入	250,000	0	
6 雑収入	100,000	111,717	利息
収入合計	10,100,000	10,856,547	a

支出の部

7 会誌発行費	450,000	0	
8 名簿発行費	0	1,472,727	印刷、発送費
9 講習会費	1,100,000	0	
10 会議費	100,000	3,500	第1回
11 支部活動費	200,000	26,208	ソフトボール用具
12 印刷費	50,000	0	
13 通信費	30,000	0	
14 事務消耗品費	50,000	0	
15 交通費	50,000	0	
16 雑費	50,000	0	
17 予備費	200,000	0	
支出合計	2,280,000	1,502,435	b

収入合計 10,856,547(a) - 支出合計 1,502,435(b) = 収支合計 9,354,112(平成12年10月11日現在)
(a)-(b)

収入の部 平成13年度会計(予算案) H13.4.1~H13.3.31

科目	13年度予算	12年度予算	備考
1 繰越金	7,000,000	8,000,000	
2 終身会費	950,000	950,000	
3 寄付金	250,000	250,000	
4 協賛費	550,000	550,000	
5 講習会収入	250,000	250,000	
6 雑収入	80,000	100,000	
収入合計	9,080,000	10,100,000	

支出の部

7 会誌発行費	450,000	450,000	
8 名簿発行費	0	0	
9 講習会費	1,100,000	1,100,000	
10 会議費	100,000	100,000	
11 支部活動費	200,000	200,000	
12 印刷費	50,000	50,000	
13 通信費	30,000	30,000	
14 事務消耗品費	50,000	50,000	
15 交通費	50,000	50,000	
16 雑費	50,000	50,000	
17 予備費	200,000	200,000	
支出合計	2,280,000	2,280,000	

監査報告

银杏学園短期大学同窓会
会長 梅橋 豊蔵 殿

银杏学園短期大学同窓会会則第3章、第10条、第5項の規定により平成12年10月23日银杏学園短期大学において、平成11年度決算および平成12年度中間会計について監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類、備品台帳など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

平成12年10月23日 監査 江藤 博三 齊藤 義治

会計部より

第28回同窓会の総会時会計資料を掲載させていただきます。現時点で監査まで終了しており、これから開催される評議員会にかけの予定です。どうぞご検討ください。なお、名簿発行費は平成11年度事業でしたが支払いが12年度にずれ込んだ結果、予算と食い違いがありますがご了承下さい。そのほかは例年と変わりません。

終身会費(5,000円)受け付け中
(終身会費未納の方は同窓会名簿が送付されません)
郵便振込 口座番号 01910-9-35812
第一勧業銀行 口座番号 682-1215739
〒860-0083 熊本市大窪1丁目6番2号
银杏学園短期大学同窓会 宛

庶務部より

会員の皆様にはご健勝のことと存じます。今年4月、四年ぶりに会員名簿を発行することができました。この名簿の発行にあたりましては、会員の皆様、評議員の皆様にはたいへんお世話になりました。深く御礼申し上げます。

また、発行に際して至らぬところも多く、訂正すべき箇所が山のようでありました。ご迷惑をおかけしていると思いますが、何とぞ、ご容赦頂きますようお願い申し上げます。

なお、会員名簿の連絡先変更、あるいは訂正などございましたら、恐れ入りますが、下記までお知らせ下さい。

庶務部：〒860-0083 熊本市大窪1-6-2
银杏短大 同窓会庶務部(担当：松本)
tel 096-344-7611
fax 096-344-7614
E-mail:dousou@ginkyo-cms.ac.jp

◎評議員改選について

银杏学園短期大学同窓会では、各卒業期より2~3名の代表者(評議員)を選んで頂き、同窓会の運営に携わって頂いております。

その任期は2年間です。(注:再任は可能です)

つきましては、平成11年度~平成12年度の任期が終了いたしますので、平成13年度~14年度の評議員の選出をよろしくご依頼申し上げます。

なお、評議員名簿は2月24日(土)に開催予定の同窓会総会にて決定しますので、各期の方々は評議員(案)をおよせ下さい。

評議員(案)ご提出メ切:平成13年2月10日(土)

提出先:银杏学園短期大学 同窓会庶務部
〒860-0083 熊本市大窪1-6-2
tel 096-344-7611
fax 096-344-7614
E-mail:dousou@ginkyo-cms.ac.jp